

**問** 新白岡駅周辺の  
開発及び発展は

新白岡駅前の市有地について売却ではなく他の目的で利活用はできないか。また、新白岡エリアを開発した当初の目的と街づくりの計画を何うとともに、市の入口となる駅前の開発について、今後の新白岡エリアの発展と合わせて何う。

**答** 暮らしやすいまちとなる  
よう努めていく

売却は、土地を有効活用するための選択肢の一つと考えている。当初は、市北部の新たな拠点として位置づけられていた。今後は、市全体のバランスに配慮しつつ、やすらぎの拠点として都市基盤の整備更新など、住環境の更なる向上に向けた取組をしていく。



野々口眞由美 議員  
(TSUNAGU)

**問** 保育園待機児童問題を  
何う

保育料無償化に伴い待機児童の増加が心配される。また、入所した者勝ちを解消すべく、3歳児だけでも通所している方も含め、審査をしてはどうか。さらに、障害を有する子どもへの保育所対応について何う。住民に寄り添った心ある対応を求む。

**答** 公平な入所対応と  
待機児童対策を進める

待機児童解消のため、保育所整備を推進しつつ、公平な入所調整を実施し、国が示すとおり、児童の健全な発達を促すために一貫した継続的な環境で保育する。障害児の受入れは、民間では公定価格の面から対応が難しいため、市立での受入れの充実に努める。



**問** 小学校の教科担任制の  
導入は

小学校高学年では、音楽科、家庭科など一部の教科で教科担任制を実施している。来年度から5・6年生の英語が教科となるが、教科担任制への対応は。また、全教科での担任制は、教員の専門性の有効活用、負担軽減にも有効と考えるが、当市の検討状況は。

**答** よりよい学習環境の  
整備を検討する

小学校の英語教科化の対応として、中学校英語免許を有する教員を1名配置している。全教科の担任制は多くの教員を配置する必要があり、本市単独の対応は難しい。今後は、国や県の動向を注視しながら、よりよい学習の環境整備が図られるよう検討していく。



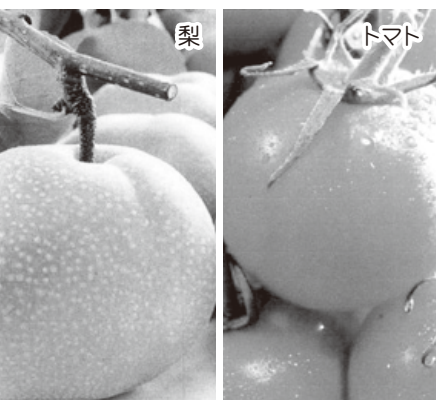
松本栄一 議員  
(創政会)

**問** ふるさと納税の  
今後は

当市のふるさと納税は、28年度の約9260万円を最高に毎年減少しているが、その要因は。今後、寄附の申し込みを増やす方策として、複数の運営会社の活用や新たな返礼品の開発等が挙げられるが、どのように進めていくのか。

**答** 委託企業などと連携し  
寄附拡大に努める

寄附減少の要因は、総務省通知により返礼品割合を引き下げたことや全国的に参加自治体が増加したこと等が考えられる。寄附拡大に向けて、複数のポータルサイト活用の検証を行うとともに事業を委託している企業や関係部署と新たな返礼品の開発に努める。



市の返礼品例